



子ども起業家ゼミの基本的な仕組み

楽しみながら学ぼう!!



A graphic consisting of four colored rounded rectangular bars (orange, green, blue, pink) arranged in a square pattern around the text. The text '単元一覧' is centered in the middle.

単元一覧

01:こども起業家ゼミの基本的な仕組み

02:広告

03:接客

04:会計

05:全体マネジメント

06:営業戦略

07:衛生・健康管理

08:部下の心得

09:フリマ準備編

10:フリマ当日編

こども起業家ゼミの基本的な仕組み

このプログラムの参加者は、
大きく3つの役割に分かれます。

プログラムの運営者



お子さんをサポートする学生
親、地域の方など
||
部下ちゃん



お子さん
||
プチ社長



人数や構成は、その時々で調整してください。

プログラムの構成

前半はワークショップでお子さんが部下ちゃんと一緒に社長業や業務を学び、後半は実際に店舗に出てビジネスをして、お金を稼いで、利益を得て帰るという大きく分けて2部構成になっています。

前半:ワークショップ

後半:実践!フリーマーケット

2日間に分けてする場合もあれば、1日で行うこともできます。

このプログラムでは、参加者のお子さんを「プチ社長」と呼ぶことをお勧めしています。一つのお店にたくさんの社長さんが同時に働いていたりして、ちょっと変なんですけど、まあ見逃してください。

受付時の名札に「〇〇社長」と書いて、社長の自覚を持ってもらうことから始め、ワークショップやイベントの最初に、「今回はアルバイトやお手伝いではなく、社長としてお仕事をしてもらう」と説明したりします。

プチ社長①



プチ社長②



プチ社長③



プチ社長④



一つのお店に
たくさんの社長さんが
いることも!

?まなびのハテナ?

しゃちょう ひと 社長さんってどんな人ですか?

社長のイメージをプチ社長に聞いてみると、「社員に命令する」「偉そう」「みんなを引っ張る」といった、旧来型のリーダーシップをイメージする発言が多くなります。学校やスポーツでのリーダーは、声が大きかったり、目立ったりする子どもが、リーダーになることが多いことも影響しているのかもしれませんが。



しかし、実際のビジネスでは、リーダーは目立つ人ではありません。目標を設定し、部下を励まし、一緒にゴールを目指すのがリーダーで社長です。この社長像をプチ社長さんに説明します。



?まなびのハテナ?

こんかい
今回、みなさんは、どんな社長になりましょうか?
しゃちょう

プチ社長さんには、部下が必要です。このプログラムでは、お子さんの安全対策や、学びのために大人や年上のお兄さん、お姉さんが部下になることを勧めています。その方達を「部下」と呼び捨てにするのは好ましくありませんので、ここでは「部下ちゃん」と呼ぶことにしています。



ぶか
部下ちゃんと仲良くなるには、どうしたらいいでしょうか?
なかよ

アントレ 学びのポイント

安全や学びの観点から、できれば1対1で、難しい場合はグループごとに、部下ちゃんをつけてあげてください。

家族の場合はお父さんやお母さんなど、家族以外の場合は年上の方、つまり普段の上下関係とは逆の関係の方が部下ちゃんになってください。





カン先生より

「こどもが年上の学生や大人、親を部下にして、1日社長になってビジネスをする」
このヘンテコな設定が、このプログラムの特徴で、面白いポイントです。
そんなことができるのかと思われるかもしれませんが、できるんです。一緒にやってみましょう!

できたらプチ社長が部下ちゃんを自分で選べるといいですね。
人材選びはパフォーマンスに最も影響するからです。これは後から自分で気づくプチ社長もいれば、気づかないプチ社長もいます。気づかなくても、教えないでもいいでしょう。いつか後で気づくでしょう。

このプログラムにおいて、部下ちゃんは、部下でありながら、プチ社長の安全や学びをナビゲートするパートナーでもあります。
とても重要な役割を果たしていただきますが、その中で部下ちゃん役の方々にも起業家的な学び(注)がありますようにと願っております。

※注 起業家的な学び(Entrepreneurial Learning)とは、さまざまな経験を経て自分の知識や考え方、やり方、行動様式などをアップデートし、次の機会に備えることです(Cope, 2003; Minniti and Bygrave, 2001; Pittaway and Cope, 2007)。多くの起業家がこのように、失敗や成功から学び、次のチャレンジにその経験を活かしています。このプログラムを通じて、起業家的な学びを体験してみてください。

法政大学デザイン工学部 システムデザイン学科
アントレプレナーシップデザイン研究室

教授 **姜 理恵** Rihyei KANG